

8:35 登園

・登園してくる子ども達を笑顔で迎え、自分から身支度や準備をする姿を褒め、気持ちよく一日がスタート出来るよう言葉をかける。

9:05 げんきこタイム
体ほぐし体操・ドングリ体操

9:30 見つけた遊び

10:30 片付け

11:00 学級で共有する活動

11:30 弁当・歯磨き

12:30 降園準備

13:00
「いいことかながえた！」
「ともだちといっしょにやってみよう。」
(自分で見つけた遊び)

13:40 片付け

14:00 学級で共有する活動 (おはなしタイム)

14:30 降園

○予想される幼児の活動 環境構成と教師の援助 □環境構成 ・共感する、見守る ○意味づけ ☆価値づけ ⇒力づけ ④⑤⑥⑦⑧は活動の構想と対応

④身近な自然に興味をもち、取り入れる遊び (泥団子づくり、泥んこカップケーキ、泥んこクッキーづくり、サラ粉づくり、色水ジュースづくり)

- 自分が作りたいものに合わせて使う土を選んだり、柔らかさについて水を混ぜて加減したりするなど、経験を活かして工夫する。
- 泥んこ場や砂場で土の質の違いに気付き、特徴を活かして自分なりにイメージの泥だんごや泥んこクッキー、泥んこカップケーキなどを作る。
- 友達や年長児の作っているサラ粉や泥だんご、泥のごちそうなどに興味をもち、真似して作ってみようとする。
- 友達や年長児のしている遊びに興味をもち、場を歩き来しながら、かかわりを楽しむ。
- ドングリやメタセコイヤ、センダンの実やスズカケの葉などの自然物をごちそう作りに工夫して取り入れる。・トンネルの築山で、サラ粉を自分なりに工夫して作る。
- 気に入った場所でイメージを広げ、ごちそう作りをしたり、ごっこ遊びをしたりする。
- 友達とイメージや思いを伝え合いながら、場を工夫したり必要なものを考えたりして楽しむ。
- 遊びの中で感じたことや気付いたことを、友達や教師に伝える。

⑤秋の自然を活かす遊び (ドングリ転がしコースづくり)

- 長くしたい、くねくねコースにしたいなどの自分なりのイメージや思いをもちながら遊ぶ。
- ドングリを転がして、転がる様子や音の違いを楽しむ。
- ドングリ転がしのコース作りに、雨樋を繋げて工夫して作る。
- 樋のコースが崩れた箇所やドングリが途中で止まった場所など、試行錯誤して樋を組み合わせる。
- 友達と一緒に崩れた箇所を直したり、発想を伝えあったりして、同じ場にいる友達とイメージを共有する。

⑥イメージを膨らませて表現する遊び (ごっこ遊び、アクセサリー作りなど作ったり描いたりする遊び)

- 友達と一緒にいろいろな身近にある材料を使い、遊びに必要なものをイメージして作る。(アクセサリー、木の迷路やお家作りなど)
- 段ボールやカップなどの素材や新聞、広告紙を切ったり貼ったりしてイメージを形にする。
- 役になりきって、友達や教師と言葉のやりとりを楽しむ。
- 友達と考えやイメージを伝えあいながら、看板や商品の表示など遊びの場を作る。

⑦身体を動かす遊び (木登り、雲梯、鉄棒、登り棒、ケンパ)

- どこまで出来るかめあてをもって挑戦したり、鉄棒で技が出来るようになることを目指したり、ケンパの置き方や組み合わせを自分たちで考えたりして、繰り返し取り組もうとする。
- 友達が行っている姿を見て、自分なりの方法でやってみようとする。
- 今出来ることに自信をもち、さらに出来るようになりたい気持ちをもって繰り返し取り組む。

⑧身近な昆虫と触れ合う遊び (昆虫コーナーで観察したり、お世話をしたりする)

- 部屋で飼っている昆虫の様子を観察し、気づいたことや不思議に思ったことを友達や教師に言葉で伝えようとする。
- 昆虫に愛着をもって触れたり、飼育ケースの中の水替えやエサやりを丁寧にしたりする。
- わからないことや不思議に思ったことを図鑑や絵本で調べようとする。

片付けをしよう

- 明日も続きをしようという気持ちをもって、作った物を残したり場を整えたり、片付けたりできるように声をかける。また、使い終わった道具は元の場所に戻したり、汚れた場所をほうきで掃いたりして、きれいにする気持ちよさを感じられるようにする。最後までみんなで一緒に片付ける大切さを伝えていく。

おはなしタイム

- 一人一人の遊びの中で感じたことや思いを話し、その遊びや思いが教師や友達に伝わったり、共感してもらったりする喜びを味わえるようにしていく。
- ⇒遊びの中の工夫や発想などを価値付けるとともに、次の遊びがどのように展開していくのかを子どもたちが期待できるように力付けの問いかけをする。
- ☆自分が学級の中で大切にされていることを実感できるように、子どもの思いを大切にしたり、共感したりする姿を見せ、何でも言える温かい雰囲気を基盤としたお話タイムをしていく。

☆興味を探りながらそれぞれのイメージや工夫を見ていき、気付きや発想、工夫などその過程を価値付けていく。
○⇒遊びが深まりそうなきっかけを見取り、発想やイメージなどの気付きを引き出していき、さらに遊びのおもしろさに気付いていけるようにする。
・年長児の遊びを一緒にみたり一緒に遊んだりして面白さを感じる姿に共感していく。
⇒興味をもつタイミングを見守り、必要に応じて真似して試してみるきっかけになるような言葉をかけたり、思いを繋げたりしていく。
・○自分なりの目的や願いを丁寧に捉えていき、ひとりひとりの遊びの面白さを探る。子どもが考えたことに対して問いかけたり、気付きや工夫に共感したり、さらに遊びが深まるように子どもの発想を引き出したり、一緒に考えたりしながら継続して遊べるように援助する。
・⇒□友達とイメージを伝え合う姿を支え、イメージが実現するように必要なものを子どもと一緒に考えたり作ったりしていく。
☆自然に興味をもち自分の遊びに取り入れて、見立てたり工夫したりしている姿に共感し、その過程を褒め価値づける。
□継続して遊べるよう置き場所、置き方を工夫する。(全ての遊び)
□どろんこ場ならではの、泥の感触や面白さを味わえるよう、耕しておく。

・木の実等の自然物を見つけて、色の変化や形、音の違いなどに気付きをもち、興味をもって触れながら、驚いたり心を動かしたりする姿に共感する。
☆ドングリが転がる早さや音の違い、コースの高低差や角度などに気付きをもつ姿を丁寧にみていき、共感したり、遊びがうまくいかない時には力付けをしたりして遊びの面白さを感じていけるようにする。
□集めた木の実や草花は、子ども達と一緒に、並べたり、分類したりして色や数、大きさ、形の違いなど興味をもったり使ったり出来るようにする。
□雨天の場合は、子ども達がテラスで木の実転がしや自然物のごちそう作りが出来るように、教師も一緒に場を整えるなどして遊びたい意欲を支える。

⇒遊びに必要なものを自分なりに考える姿を認めながら、作っていく上で難しい部分は教師がしたり、手伝ったりして、思いが実現できるように支える。
・友達と一緒に同じものを作ったり身につけたりして遊び、自分たちの世界を楽しんでいる姿を大切に、楽しさや自由な表現に共感する。
☆友達同士でやりとりを楽しんだり、遊びを進めたりしている場面では、互いに思いや発想を出したり、受け入れたりする姿を、褒め認めていく。
・友達と一緒に役になりきって、自分たちの世界を楽しんでいる姿を大切に、子ども達の会話に耳を傾け、感じていることに共感していく。
□画用紙、折り紙、空き箱、紙テープなど、いろいろな形、大きさのものを用意しておき好きな物を選んで使えるようにしておく。
□集めた木の実を入れる箱や作った物を並べる場所など、子どもと一緒に考えながら、遊びに意欲をもてるような場作りをしていく。

・☆興味をもって繰り返し頑張っている姿やあきらめないで楽しんでいる姿を具体的な言葉にして認める。
☆友達や年長児にやり方を教えてもらったり、助けてもらったり、励まされたりなどのかわりを大切に、その嬉しさに共感したり次への意欲につなげたりしていく。
□安全面に配慮しながら、具体的なやり方を示したり、身体を支えたりして安全に取り組めるようにする。

⇒昆虫の世話の仕方を自分なりに考えたり、図鑑で調べたりする姿を見守り、命を大切に扱えるような言葉をかける。
・昆虫に触れながら子どもが気付いたり感じたりしたこと共感し、昆虫の不思議さを感じられるような言葉をかける。
⇒□コーナーを整えながら、学級みんなの場所という気持ちをもって場を考え、工夫する姿を支える。
□子ども達が自由に見たり、調べたりできるように図鑑や本を準備しておく。